

ISO39001に注目

NASVA 安全マネジメントセミナー

自動車事故対策機構など、より具体的な情報（鈴木秀夫理事長、東報を収集し、皆さんに京都墨田区）は8日、分かりやすい形で提供第8回「安全マネジメント」を開催し、安全マネジメント・セミナーを開き、安全マネジメントの体制構築のお手伝いを催。約690人が参加した。

鈴木理事長は「運輸安全マネジメント制度も導入後8年目を迎えた。今年はその深度化、効果的な取り組み事例



シー・トラックの皆さんと協力しながら安全体質の確立、コンプライアンスの徹底、飲酒運転の根絶、IT新技術の活用などを通じた事故防止対策の推進を図りたい」と述べた。

今回は「睡眠」と「IS

039001（道路交通安全マネジメントシステム）に注目した内容で、絹和会睡眠総合ケアクリニック代々の井上雄一理事長が「良質な睡眠と健康管理」を講演。病的な面からみた居眠り事故原因を説明した。パネリストは日立自動車

の八塩圭子さんがコーディネーターを務め、パネリストは日立自動車交通の西窪裕光部長代理、日本品質保証機構の森廣義和理事、常盤産業の清水英敦代表取締役、名正運輸の山口嘉公部長、NASVAの八木一夫審議役の5人。ISO39001について、認証取得

時の経験や意見などを述べた。

さらに特別講演として、睡眠健康科学財団理事長の大川匡子医学博士による講演などが行われ、トラック事業者らが運輸安全マネジメントやISO39001への取り組み事例を説明した。

（小澤 裕）